



他のニュースも、ホームページで随時更新中!

定植管理や栽培農業資材について学ぶ ハウスピーマン指導会



ピーマン定植時の諸注意を説明する晴山委員長

J Aは3月10日、石鳥谷東支店(花巻市石鳥谷町)でハウスピーマン指導会を開きました。
生産者43人が参加。県中部農業改良普及センターの職員やJ A職員の説明を聞き、ピーマン定植前後の管理や今後の栽培農業資材などを学びました。
J Aが地域の中核農家を指導役として任命している「農の匠」で、花巻地域野菜生産部会・ピーマン専門委員会の晴山文佳委員長は、ピーマン定植時の諸注意を説明したうえで、「皆さんの頑張りで昨年度のピーマン販売額は5億円を達成した。今年度も頑張ってください」と話しました。

若手農業者の取り組み伝える 花巻農業高校で出前授業を開催



講話をする小原会長(左)とメモを取る生徒たち

果樹部会若手りんご生産者グループ「THE RINGO STAR」の小原忍会長とJ A職員の大石航也さんは3月18日、県立花巻農業高校(花巻市葛)で出前授業を開きました。
同校生物科学科1・2年生74人が参加。小原会長は年間の栽培スケジュールを説明したほか、同グループの取り組みを紹介。食育活動を中心にPR活動や研修会などを開いていることを伝えました。同校の卒業生である大石さんは、就職した理由や業務内容、やりがいなどを講話しました。
2年生の高橋倫さんは「農業の難しさだけでなく、プラスの面をたくさん聞くことができた」と話しました。

春季の栽培管理方法を確認 アスパラガス栽培講習会

J Aは3月15日、和賀町・岩崎・横川目支店(北上市和賀町)でアスパラガスの栽培講習会を開きました。
生産者やJ A、県職員など26人が参加しました。県中部農業改良普及センターの職員が栽培管理や病害虫について説明。春の発芽前に畝に盛った土を崩して地温を確保することを目的として、「排土作業を行うよう推奨しました。参加者は、春季の栽培管理方法について確認しました。
宮農部北上地域宮農グループ園芸課の中村善希さんは「アスパラガスの簡易雨よけ栽培の普及に向けて、補助事業を活用した支援を行いながら推進していきたい」と話しました。



補助事業について説明するJ A職員

今シーズンの営業開始! 注文の多いやさ母ちゃん市

女性部矢沢支部「注文の多いやさ母ちゃん市」は3月18日、矢沢支店前(花巻市高木)で今シーズンの営業を始めました。
ダイコンやハクサイなどの野菜や花、果物、手作りの加工品など豊富な品揃えで、来客者をお出迎え。買い物をした方には、サービス品として野菜や花苗の提供も行い、笑顔溢れる母ちゃん市となりました。三浦厚子会長は「今年も営業開始からたくさんの人に来ていただけてうれしい。季節によってさまざまな品が並ぶので、楽しみにしてほしい」と笑顔を見せました。
同市は冬期間を除き、毎週木曜日の午後2時~4時に販売します。



「注文の多いやさ母ちゃん市」の会員募集中です!

生き生きと輝く活動を 女性部が「第13回通常総会」を開催



新部長の北島さん(右)と新役員たち

女性部は3月26日、第13回通常総会を開きました。
密を避けるため、J A総合営農指導拠点センター(花巻市野田)を主会場に、地域ごと計4会場をオンラインで接続して開催。部員やJ A役員など、全会場合わせて約90人が参加しました。令和3年度は、コロナ禍の中で世代を超えて部員一人ひとりが生き生きと輝く活動を検討し、工夫して実践していくことを確認しました。
任期満了に伴う役員改選も行い、新部長に北島真理さんを選出しました。北島さんは「皆さんの力を借りながら、自分たちが楽しめる活動を各地域で展開していきたい」と抱負を述べました。

細やかな作業を丁寧に 西和賀町でリンドウ播種作業開始



一粒一粒、丁寧に種をまく南川さん

西和賀町で3月11日から2日間、4戸の育苗ハウスでリンドウの播種作業を行いました。
育苗生産農家やJ A、西和賀農業振興センターの職員などが作業。竹串や先端に針を付けた棒を使い、1~2mmの種を培土が入ったセルトレーの穴に2~3粒ずつ落としました。2日間で、県のオリジナル品種7品種と同町のオリジナル品種12品種のほか、試験用品種約40系統などを128穴のセルトレー約1230枚にまきました。苗はハウスで管理し、6月上旬から同町の生産者22戸に配る予定です。
育苗を担う南川信一さんは「健全な苗を農家に渡したい。そのために重要な温度に気を付け、管理していきたい」と話しました。